

若浜の子ども



平成30年4月21日 第1号

<平成30年度PTA総会資料>

平成30年度 酒田市立若浜小学校の教育について

「自分の力を／充分に出し／たくさんの友達と／手をつなぎ／がんばるのだ／この校章のように／
明るく／すくすく／伸びよ／若浜小の／仲間たちよ」 <校章のメッセージから>

1 学校経営の基本的方針 <「チーム若浜」で信頼される学校づくりの推進>

「いのちの教育」を基底に教育活動を展開し、児童一人一人がかけがえのない存在として、仲間として大切にされる学校を目指す。

- (1) 教育公務員及び組織の一員として使命と責任を自覚し、その資質向上と「自立と協働」ができる組織を目指し、OJTの活性化を図り、教育目標達成に努める。
- (2) 学校(学年)課題を解決するための方策を学年、指導部が明確にし、職員の共通理解・共通実践で課題解決に取り組む。PDCAサイクルを重視し、効率的かつ機動的な学校運営に努める。
- (3) 全校体制で、児童理解を基にした支持的風土に満ちた学級経営を支援していく。
- (4) 教職員の特別支援教育に関する認識を深めると共に、体制の整備等を行い、組織として十分に機能するようにする。
- (5) 共育の心を持って家庭、地域との連携を図り、目標を共有し、その力と声を経営に生かし、安全・安心な「開かれた学校づくり」を推進する。

2 学校教育目標

自ら学び、考え、行動する若浜の子ども

— すべての教育活動の基底に「いのちの教育」を —

<合言葉>

- 「わ」和衷協同 (わちゅう きょうどう) みんなで力を合わせる。
「か」快活愉快 (かいかつ ゆかい) 明るく朗らかに生きる。
「は」万能一心 (ばんのう いっしん) 集中して物事に取り組む。
「ま」磨穿鉄硯 (ません てっけん) 勉強を一生懸命に続ける。

3 めざす子ども像

- 自ら学び、よく考えるかしこい子 (知)
- 思いやりと正義心があるやさしい子 (情・意)
- よく遊び、体をきたえるたくましい子 (体)

4 めざす学校像「子どもと教師の笑顔があふれる学校」

- 認め合い、助け合い、共に生きる喜びのあふれる学校
- 学び合い、できた喜びやわかる喜びのあふれる学校
- 安全、安心な学校生活のための環境が整った学校
- 家庭、地域と共育の心で教育に取り組む開かれた学校

5 めざす教師像「認め合い・学び合い・助け合いができる教師」

- 児童に対する愛情と教育に対する情熱のある教師
- 教育の専門家としての確かな力量を持つ教師
- 児童や保護者から信頼され、総合的な人間力を持つ教師
- 組織の一員としての働き（チーム若浜「自立と協働」）ができる教師

6 経営の重点「すべての教育活動の基底に『いのちの教育』を」

- (1) 児童理解を深め、「いのちの教育」を推進する。
- (2) 学校研究を中核に、学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成するための授業改善に努める。
- (3) 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。
- (4) 自主性・主体性を育成し、心が通い合い高め合う集団づくりを推進する。
- (5) 体力の向上と健康の保持増進を目指す実践力を高める。
- (6) 教育環境を整備し、潤いのある教育環境の整備に努める。
- (7) 家庭・地域との連携を強化し、「共育」を推進する。
- (8) 次期学習指導要領に向けた準備を進める。
- (9) 酒田二中との小中連携教育を推進する。

下線部今年度特に力を入れたい点

「いのちの教育」について

今年度、毎月第2水曜日を「いのちの日」として、校長講話、全学級での道徳授業など自他の生命や生き方について考える日としています。

子どもたちは、「いのち輝く人間」の姿をめざして・・・

- 自分のいのちを大切にし、いのちいっぱい生きる。
- 他のいのちにも思いをはせ、大切にする。
- 人や社会の役に立ちたいと一生懸命努力する。
- 自然に学び、その恵みに感謝する。
- 次の世代を思い、知恵を伝え、育てる。

『いのちの教育』の指針（山形県教育委員会）より

大人は、学校・家庭・地域が共に・・・

- 自分を大切に思える気持ち（自尊感情）を育てましょう。
- 「いのち」のつながりと多様性に気づかせましょう。
- 「いのち」の尊さと人としての生き方をしっかりと教えましょう。

